a　アナログ時計の長針と短針とを区別して捉えることができるようにする。

b　アナログ時計の時は短針で決まること，分は長針が指す目盛りで決まることを理解できるようにする。

(ｴ) 内容の「Ｃ測定」のウの(ｱ)については，直接的な表示により時刻に関心をもちやすいデジタル方式を取り扱うことができるよう配慮するものとする。

(ｵ) 内容の「Ｃ測定」のウ及び「Ｄデータの活用」のアの(ｱ)の㋐については，児童の日常生活に関連する学習と関連付けながら取り上げること。

(3) 数学的活動の指導に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　数学的活動は，基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けたり，思考力，判断力，表現力等を高めたり，算数を学ぶことの楽しさを実感したりするために，重要な役割を果たすものであることから，２の内容の「Ａ数と計算（１段階はＢ）」，「Ｂ図形（１段階はＣ）」，「Ｃ測定（１段階はＤ）」及び「Ｄデータの活用（１段階は「Ａ数量の基礎」）」に示す事項については，数学的活動を通して指導するようにすること。

イ　数学的活動を楽しめるようにするとともに，算数を生活に活用することなどについて実感する機会を設けること。

〔音　楽〕

１　目　標

表現及び鑑賞の活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活の中の音や音楽に興味や関心をもって関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに，感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 感じたことを表現することや，曲や演奏の楽しさを見いだしながら，音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音や音楽に楽しく関わり，協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに，身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い，豊かな情操を培う。

２　各段階の目標及び内容

○１段階

(1) 目　標

ア　音や音楽に注意を向けて気付くとともに，関心を向け，音楽表現を楽しむために必要な身体表現，器楽，歌唱，音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。

イ　音楽的な表現を楽しむことや，音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。

ウ　音や音楽に気付いて，教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに，音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。

(2) 内　容

Ａ　表　現

ア　音楽遊びの活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら，音や音楽を聴いて，自分なりに表そうとすること。

(ｲ) 表現する音や音楽に気付くこと。

(ｳ) 思いに合った表現をするために必要な次の㋐から㋒までの技能を身に付けること。

㋐　音や音楽を感じて体を動かす技能

㋑　音や音楽を感じて楽器の音を出す技能

㋒　音や音楽を感じて声を出す技能

Ｂ　鑑　賞

ア　音楽遊びの活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら，音や音楽を聴いて，自分なりの楽しさを見付けようとすること。

(ｲ) 聴こえてくる音や音楽に気付くこと。

○２段階

(1) 目　標